

令和7年文月号

大洞院便り

令和7年7月3日 発行

お盆は、釜蓋朔日（かまぶたついたち）に始まります。お墓の掃除をする、7日の七夕（たなばた）で盆棚や仏壇の盆飾りをするなど、先祖・故人の精霊を迎える準備が続きます。

今年の大洞院は、8月2日の新盆法要と施食会に始まり、盆棚経、15日の盂蘭盆法要、23～24日の地藏盆と盆行事が続きます。先祖・故人・縁者をはじめ広く戦没者、天災地変の被害者を含めた諸精霊の供養を行いましょ。

お盆期間には、墓参り、新盆法要、施食会、盂蘭盆法要と大洞院を訪れる機会が増えます。大洞院の建物は冷房して、皆さまをお迎えしています。

墓域の掃除用具は、水場に準備してあります。不足の道具がありましたら、寺務所へ声を掛けてください。本堂西玄関ロビーやギャラリーなど冷房してある場所を熱中症予防の休憩に活用ください。

盆棚経は僧侶が皆さまの家に外出いて位牌の前で供養の読経をします。新盆法要、施食会、盂蘭盆法要は、冷房してある本堂で開催します。

盆期間は、先祖・故人の精霊が家族の元に帰ってくると言われます。先祖からの命のバトンの繋がりを子孫が再確

認する機会です。先祖に感謝して、家族揃って供養の法要に参加しましょう。

施食会塔婆等申込 web 受付開始

郵便の土日集配中止の影響で投函から配達までの日数が大幅に伸びています。素早く申し込みが可能なwebサイトからの施食会の出欠・塔婆・仏花申込受付を始めます。



web 申込フォーム

これまで通り、大洞院便りと共に送る施食会申込ハガキでも受け付けます。どちらかの方法で申込みください。

法要名	ぼんたなぎょう 盆棚経	しんぼんほうよう 新盆法要	せじきえ 施食会 (施餓鬼会)	うらぼんほうよう 盂蘭盆法要
詳細	僧侶が各家庭を訪問して共に仏壇の前で行う供養	故人が最初に迎える盆の合同法要	先祖・縁者や諸精霊を供養する合同法要	先祖・縁者や戦災・天災死者を供養する合同法要
日程	7月中旬、8月初旬～中旬	令和7年8月2日 11:00 開式 (毎年8月第1土曜)	令和7年8月2日 13:00 開式 (毎年8月第1土曜)	令和7年8月15日 18:00 開式 (毎年日付固定)
布施	棚経布施袋を利用	新盆供養志納袋を利用	定期法要志納袋を利用	定期法要志納袋を利用
塔婆	なし	あり (施主1本5,000円 志主1本4,000円)	あり (1本4,000円)	なし ※式中に故人の名前・戒名の読上申込あり

次のページで各法要の詳細を解説します。

新盆法要

令和7年8月2日(土) 午前11～12時
会場：本堂 受付：寺務所

新盆とは、故人が最初に迎える盆です

故人が最初に迎える盆を「新盆(しんぼん・にいぼん・あらぼん)」と呼びます。本堂に設ける施食棚にこの1年間に亡くなった故人の白木位牌を祀り、浄水・供物を供えて盆幡を建て特別に手厚く供養します。

本年の新盆法要では、令和6年6月17日～令和7年6月22日の間に逝去された方々の親類縁者にお集まりいただき、近隣寺院僧侶の協力を得て故人を特に丁寧・手厚く供養します。

参加人数分の席を用意します。申し込まれた塔婆は、法要終了後に本堂内で渡します。

新盆法要の対象となる皆様には、ご案内を別送しました。未着の場合は連絡ください。家族・親族揃って参加いただけます。



令和6年 新盆法要

新盆の相談を受け付けます

初めてのお盆で、戸惑うことも多いと思います。地方によって風習が異なるために、親族間でも意見が合わず迷うことがあります。新盆法要について、分からないことや困ったことを寺務所で相談に応じています。

お友達が家族の新盆をどうすればいいかわからないみたい。私もわからないから困ったわ…



お葬式は葬儀社にお願いしたけど、新盆の相談は誰にするか困ってるの…

新盆についてのご相談は、大洞院にご連絡ください。

よくある質問

Q：新盆法要の服装に決まりはありますか？

A：故人を迎える初めてのお盆の法要です。導師と役僧は正装で供養をします。盛夏ですから、参列者には気候に合う落ち着いた服装での参列をお願いしています。冷房が不十分、冷風が当たって寒いなどの声があります。風よけに羽織れるものもお考えください。

Q：釜蓋朔日の意味を教えてください

A：先祖・故人の精霊が冥土が故郷へ向かって旅立つ日といわれています。迎える側も釜蓋朔日から、墓所の草刈り清掃をするなど、先祖・故人を迎える準備を始めます。

Q：盆提灯、迎え火を焚くのはなぜですか

A：盆期間、先祖・故人の精霊は自分の墓所に戻って、思い出深い所などを尋ねながら、盆休みで家族が揃うのを待っています。墓所まで盆提灯を持って迎えに行く、庭先で迎

施食(施餓鬼)会

令和7年8月2日(土) 午後1～2時
会場：本堂 受付：寺務所

施食法要は、先祖・故人・縁者・広く無縁の諸精霊の供養をして、さらに参列する皆様の福德延寿を願う法要です。

午後1時に開式します。次世代を担う家族とともに参加をお願いします。本堂前にも焼香台を準備します。自由に参拝・焼香いただけます。法要終了後(午後2時頃)に、本堂前で申し込まれた塔婆をお渡しします。各自の墓所に建立して、墓参りをしてください。

受付は寺務所で、大洞院オリジナルの盆幡をお渡しします。帰宅後に仏壇などへの飾り付けをお願いします。



令和6年 施食会



本堂前の焼香台



施食会塔婆



墓参用仏花販売

事前申し込みいただいた塔婆は、法要終了後に本堂前で受け取り、個々の墓所や一葉観音前の塔婆立てに施主が建てます。

事前注文した墓参用仏花は当日寺務所東側で受け取りください。

え火を焚いて先祖・故人を自宅に招くといわれています。

Q：盆供養幡(五色幡、五如来幡)の意味を教えてください。

A：盆供養幡をお盆に飾ると、先祖・故人は、東西南北中央を守る五如来の導きで、盆期間が終わると浄土に帰るといわれます。五色は、仏教で考える宇宙万物の五素因「空風火水地」を色で表現しています。

Q：塔婆供養の意味を教えてください。境内にお墓が無い人はどこに建てれば良いですか。

A：塔婆は供養塔の形で、故人の戒名と建立する方の名前を墨書します。故人への「ありがとう」の気持ちを伝える手紙です。大洞院は塔婆を墓所に建てて焼香し、供養することをお勧めしています。墓所のない方は、一葉観音(合祀墓)の塔婆立てを利用ください。

塔婆立てがいっぱいになりましたら、古塔婆を本堂東の古塔婆置場に移してください。

盆棚経

お盆には故人の霊が家族の元に帰ってくると言われます。盆棚経は、先祖・故人の霊を自宅に迎えて供養する先祖供養の大切な行事です。櫻井大文住職、満目尚樹和尚、後藤英慈和尚が手分けして皆様の家の位牌の前で読経させていただきます。

7月盆の方には、棚経日時を記載した案内と盆幡をすでに郵送しました。

8月盆で訪問する皆様には、棚経予定日を記載した案内を大洞院便りと一緒に郵送します。今年の盆棚経は、おもに8月9日(土)～15日(金)を計画しています。

今年の盆期間は、8月9～11日が連休、16～17日が土・日曜となっています。すでに8月4日、16日の棚経希望がありました。8月3～12日、16日以降は棚経計画に余裕があります。日程の変更を希望される方は連絡ください。都合のつく日時で調整させていただきます。

棚経案内が届いていない方、棚経を再開する方、新たに棚経を希望する方は寺務所まで早めにご連絡ください。大洞院檀家以外でも、ご希望があれば盆棚経に訪問させていただきます。

きます。皆様のご要望を受け調整した盆棚経の訪問日時は、8月1日頃から本堂西廊下に掲示します。大洞院寺務所でもお伝えします。ご確認ください。

なお、盆棚経を自宅で迎えられない方は、8月15日午後6時から本堂での盂蘭盆法要に参加してください。

よくある質問

Q. 棚経の日程や時間を去年と同じにできないのですか。

A. 新盆で新しい訪問先が増えるなど、様々な事情により3名の僧侶の棚経ルートが毎年変わります。このため、訪問時間を毎年同じにすることが困難です。皆様の生活リズムを考慮して朝8時30分から午後6時の間で計画しています。訪問日が前後する棚経先も発生します。8月12日以前、8月16日以降であればご要望に応じることも可能です。寺務所にご相談ください。

Q. 仏壇前に集まった親戚を待たせたくないから、指定した時間ぴったりに来て欲しい！

A. 棚経では毎日30軒前後を15分程度の訪問時間で、最も移動時間が少ないルートで計画しています。しかし、道路状況や訪問先での仏事相談、急遽の変更などのために、予定を30分程度前後することが多くあります。特に、8月13～15日は時間指定にお応えすることが困難になっています。8月5～12日、16日以降であれば検討しますので、寺務所に相談ください。



櫻井大文住職



満目尚樹和尚



後藤英慈和尚

盆飾りの飾り方

お盆の時期、仏壇の清掃と盆幡(ぼんばた)などの盆飾りは7日に行う風習があります。この風習が七夕(たなばた)となりました。皆様も7日頃に盆幡を仏壇や位牌の周囲に飾りましょう。

棚経にお伺いした時、僧侶は位牌に向かって供養の読経をさせていただきます。家族揃っての参拝をお願いします。

大洞院オリジナル盆供養幡

最近の仏壇、位牌の小型化に対応して、五如来名号を一枚にまとめた大洞院オリジナルの供養幡を制作しました。

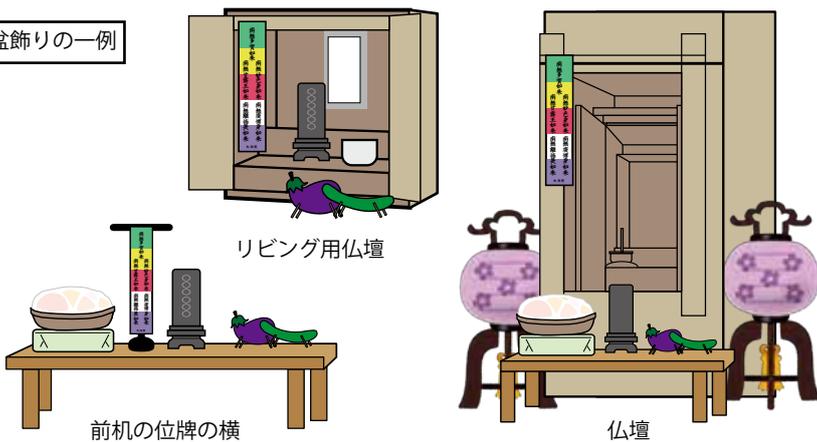
7・8月に寺務所受付でお渡ししています。仏壇上部などに直接、または別途用意した紐で、吊り下げてください。



吊り下げる時は、火災防止を考慮し、ろうそく・線香の火が当たらない場所に飾ってください。

地域やその家によって盆棚の風習は異なります。初めてなのでよく分からない等の相談は寺務所にて受け付けていますので、気軽に相談ください。また、今年も本堂西玄関に仏壇を使用した盆棚飾りを展示します。実物を参考にしたい方は来訪ください。

盆飾りの一例



前機の位牌の横

仏壇

8月15日 盂蘭盆法要

先祖・故人、水子や縁者の供養のための盂蘭盆法要を開催します。8月15日は8月盆の中日、終戦の日でもあり、戦没者の慰霊、大震災など災害死者の慰霊も行います。

檀家以外の地域の方も参加ください。盆棚経を受けられなかった方、墓参りの方にも参加いただけます。

参道に千本灯明を点灯して、法要終了（午後6時30分頃）後から、詩吟と津軽三味線の演奏などの奉納があります。夕涼みがてら、皆様もお聞きください。



盆の墓参り参道



盂蘭盆法要

令和7年8月15日（金）午後6時～
会場：本堂 受付：寺務所

盂蘭盆に故人の供養をしましょう

大洞院の盂蘭盆法要は、檀家に限らずどなたでも参加いただけます。

先祖、遠方の親類縁者などの供養がしたい方、水子の供養がしたい方、故郷にお盆の墓参りができない方、墓所は分からないけれど恩師・友人の霊に手を合わせたい方など、宗旨を問わず参加ください。

供養したい故人の氏名（分かれば戒名）、供養する方の氏名を記入して供養料（千円）を添えて寺務所に申込みと、盂蘭盆法要の式中で故人の氏名・戒名を奉読して供養します。奉読申込は、法要前17時30分まで受付ます。



津軽三味線五錦流師範
ごしき ゆうご
五錦 雄互



篠笛・フルート
みやかわ えつこ
宮川悦子



日本吟道学院 韻の会
とくたけりゅうくう
徳武龍空

8月15日（金）午後6時30分～（盂蘭盆法要後）
会場：本堂前 参加無料

盂蘭盆法要終了（午後6時30分頃）後は、参道に千本灯明を点灯して、津軽三味線と篠笛、詩吟の奉納で、先祖・故人の供養をさせていただきます。皆様も一緒にお聞きください。



演奏奉納



演奏奉納



千本灯明



お盆の供養の申込書

<キリトリ線>



フリガナ	
故人・先祖名	

故人や先祖の名前を書いてください。法要で奉読します。

- (例) ・山田一郎家先祖代々
- ・鈴木太郎(氏名・俗名など)
- ・〇〇××信士(戒名など)
- ・田中先生(学校の先生など)

フリガナ		電話	TEL ()
氏名			携帯 ()
住所	〒	E-mail	

じぞうぼん
親子の地蔵盆
ちびっこお楽しみ会

大洞院の盆行事の最後は、子供のためのお盆「地蔵盆」で夏休みの思い出を作りましょう。

大洞院の地蔵盆は、子供たちを見守る山門の六地蔵にお参りをして、冷房の効いた本堂でステージやお菓子釣りを楽しみ、じゅず玉アクセサリ、缶バッジなどのクラフト体験をする行事です。

今年のステージは

マジシャン古川ゆうじさんの

わくわくマジックショー!



8月23日(土) 午後1時～3時

会場:本堂 参加費:無料



参加のお子様にも素敵なプレゼント!

電話またはメールで人数をお知らせください。

電話:04-7132-5868

E-mail: daitou@daitoin.net



住職と缶バッジ作り



ミニ縁日・お菓子釣り



じゅず玉アクセサリ作り



紙コップピラミッド作り

地蔵盆とは

盆月下旬(お地蔵さまの縁日の24日頃)に行われる子供の健やかな成長を願う行事です。関西方面で盛んな行事です。皆様の故郷で「地蔵盆」を行っている所もあるかと思ひます。



ホオズキの配布



施食会当日に大洞院ファームで育てたホオズキを寺務所前にて配布を予定しています。参拝の折にお持ち帰りください。



夏休みの宿題をお手伝い!

夏の工作教室

8月4日(月) 8月9日(土) 8月12日(水)



各回定員5名まで



大洞院で絵画教室を主宰する西岡民雄さんによる夏の工作教室です。

参加者はみんな初心者なので、講師が丁寧に指導します。講師指導で、夏休みの宿題を作りましょう。

午前10時～11時30分 大洞院 会議室

参加費:1回 2,000円(材料費込)

持ち物:水彩、クレパス、筆、パレット等の画材があればお持ちください

大洞院
絵画教室

日時:第1・3金曜日 午後3時半～5時

場所:大洞院 会議室 月謝:4,000円(月2回)

問合せ ☎090-2335-3680(アトリエ飛動庵/西岡民雄) または ☎04-7132-5868(大洞院)

酷暑注意!

西玄閣休憩所を冷房中

今年の夏も暑い日が続くとされています。大洞院では、本堂西玄閣のロビーやギャラリーを冷房して、休憩所として利用いただいています。

墓参りや参拝の際などに休憩所として、自由に活用ください。熱中症にならないように涼みながら、ギャラリーの作品を鑑賞をする、書架の本を手取る、飲物を口にするなど、ゆっくりと休憩ください。

本堂内トイレも自由にご利用いただけます。



ボウフラの予防



夏が近づき、墓地で蚊が飛ぶ季節になりました。落とし込み花立てについては、水にボウフラが発生しないように外して逆さにしてあります。仏花を立てる時は、お手数ですが元に戻してください。

固定式花立てには、ボウフラ対策として銅線を入れています。



ボウフラ対策用の銅線(約1.5cm)

特派布教法話会の報告

6月20日、仏教の教えを広めるために曹洞宗の管長が特別に任命した僧侶が行う柏周辺地区の「特派布教法話会」を今年は大洞院で開催しました。特派布教師は宮崎県徳泉寺澤英俊住職に來訪頂きました。当日、会場には教区寺院の僧侶と有志約40名が参列し、法話を傾聴しました。



会場の様子

演題は「かさねあう心～知恵と慈悲～」で、思いやりの心の大切さを出身地・宮崎のエピソードを含めて話されました。相手を思う一言や支援の「思いやり」が波紋となって世界に広がります。地域や親族の縁が薄まる現代社会で、「思いやりの心」が大切と説かれました。

大洞院応援隊

大洞院の春・秋彼岸法要、盆行事、寺コンなどの準備は、大洞院の利用者、近隣の住民、檀家などにボランティアとして応援いただいています。大洞院では「応援隊」と呼んで協力に感謝しています。

毎月第一水曜10時から行う「本堂清掃」では、本堂の普段の清掃で手の届かない範囲を清掃します。活動後は、参加者で昼食を共にし、親睦を深めています。

応援隊の活動内容は徐々に増えて、境内の植栽の手入れ、大洞院ギャラリーの展示・設営、チラシのポスティングなど、「無理せず」「できる範囲で」少しずつ協力いただいています。

得意分野に合わせた協力者を募集しています。



檀家位牌清掃



大洞院便り発送準備



定期法要 墓参用仏花販売



寺ゼミ 5年ぶりに復活開催

小金牧と村の暮らし

コロナ禍で休止していた寺ゼミ(歴史講演会)を、5月24日に5年ぶりに再開しました。

講師は渡辺尚志・松戸市立博物館館長で、「小金牧と村の暮らし」をテーマに、江戸幕府直営の小金牧と野馬、野馬奉行と牧士による管理、牧周辺の村々の暮らしと村人の権利主張、牧があることのメリットとデメリットなどについて講演いただきました。



会場の様子

寺の井戸に野馬が落ちた

講演の中で、宝暦4(1754)年3月に大洞院の井戸に小金牧の幕府放牧馬が落ちて、野馬奉行所(小金御厩役所)に報告した古文書が紹介されました。

2月に大洞院に書道教室の参加者から同じ古文書写しの提供があり、柏市教育委員会の協力で解読を終えたばかりでした。



『動物たちの江戸時代』書影

5月末には、立正大学高橋美由紀教授から、『動物たちの江戸時代(慶応義塾大学出版会)』第2章『牛と馬が支える江戸時代の暮らし』P37～39に『寺の井戸に御野馬が落ちた騒ぎ』を記載した」と、著書と共に引用文献を添えて贈呈いただきました。

江戸時代に大洞院の井戸に小金牧の放牧馬が落ちた事が続々と話題に上っています。井戸の位置、形状も目安がつかまりましたので、午(うま)年にあたる来年には、幕府の放牧馬が落ちた井戸の発掘調査をしたいと思います。

収支計算書を掲示しました

令和7年5月27日に千葉県庁に提出した令和6年度収支計算書等を寺務所玄関に掲示しました。檀家の方は、収支決算書等の詳細を確認できます。お問合せください。



寺務所 玄関

大洞院の落語会「ごらくご」



令和7年
9月10日(水)
 13:30開場 14:00開演
 会場:本堂(椅子席・駐車場完備)
 本堂 木戸銭:2,000円 予約:寺務所
 ☎04-7132-5868 daitou@daitoin.net

◆立川志のぼん プロフィール◆
 土浦第一高等学校 卒業。筑波大学大学院芸術研究科を修了。
 2005年1月 立川志の輔に入門
 2013年4月 ニツ目昇進
 落語による地域活性を目標にして、全国的に活動中。

認知症カフェ「花福」

主催：田中地区オレンジフレンズ
 協力：柏北部地域包括支援センター、大洞院

認知症について知りたい方、認知症の方や家族、地域の方々、どなたでも参加できる「憩いの場」です。
 認知症サポーターのたなか地区オレンジフレンズ、柏北部包括支援センター職員が個別相談にも応じます。認知症について知り、介護の悩みや経験談を共有するとともに、認知症の方が自ら楽しめるカフェにしていきます。
 時間内の出入りは自由です。気軽にお越しください。

日時：7月8日(火) 午後1時30分～3時
 8月19日(火) 午後1時30分～3時
 9月9日(火) 午後1時30分～3時
 参加費：100円(菓子・飲み物代) 場所：本堂 会議室

【活動内容】
 レクリエーションゲーム・座談会・情報交換
 包括支援センター職員による個別相談(ご希望の方)等



6月10日
 ギターコンサート

活動内容や概要については、柏北部包括地域センター(☎04-7140-8818)までお問合せください。

秋の寺コン

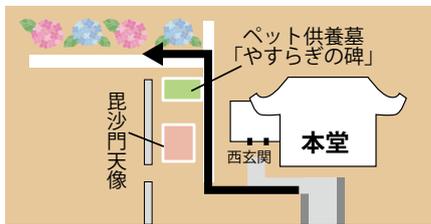


今年の秋の寺コンは、マリンバ奏者藤本亮平さんを中心にヴァイオリンやハンドベルなどの爽やかな音色のコンサートを企画しています。

10月25日(土) 13:30開場 14:00開演
 会場：本堂(椅子席) 入場料：2,000円
 予約：大洞院寺務所へ電話・メール
 ☎04-7132-5868 daitou@daitoin.net

本堂の裏に あじさいが咲きました

大洞院の本堂裏に咲くあじさいが見ごろを迎えています。



大洞院ファーム 参加者を募集

大洞院に隣接する農地を、檀家から一部借用し野菜・花の栽培をしています。

檀家や地域の方が参加しています。参加者が増えれば、更に拡大できます。一緒に栽培を楽しみませんか。

農具は大洞院にて貸出、井戸水は農地内にあります。トイレ、休憩所は寺務所にあります。

大洞院寺務所へ問い合わせ・申込みください。



仏壇のはせがわ

境内墓地の利用者募集について、「お仏壇のはせがわ」と業務委任契約を締結しました。

「はせがわ」の顧客で墓地利用希望者を大洞院に紹介してもらいます。墓地利用者が増えることを期待しています。



米寿記念 地井紅雲作品展



板画家として東葛地域で活動する地井紅雲さんの米寿を祝い、板画・水彩画を中心とした作品展を開催します。

7月5日(土)～24日(木)
10:00～16:00
会場:大洞院ギャラリー

版画家・大野隆司

エンドレスカレンダー原画展

大野隆司さんの最新グッズ「エンドレスカレンダー」に使用した原画を展示します。

7月26日(土)～8月24日(日)
10:00～16:00
会場:大洞院ギャラリー



エンドレスカレンダー
寺務所で販売中

大洞院 御朱印案内

大洞院では、参拝の皆様へ御朱印(書き置き)をお授けします。寺務所にお声掛けください。

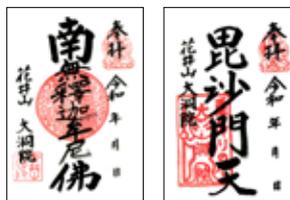


令和7年6月 月替わり御朱印 500円

令和7年 毎月新作!

大野隆司 月替わり御朱印

東葛地域を代表する版画家・大野隆司さん描き下ろしデザインの御朱印です。



釈迦牟尼仏
300円

毘沙門天
300円



長繩えい子、地井紅雲、切絵など常時40種以上の見開き御朱印から好きな絵柄を選べます。

静寂な空気の中で 自分と向き合う

坐禅会 写経会

土曜坐禅会 第1・3土曜 午後2時～3時 参加無料

初心者向け坐禅会です。10分前までに集合ください。

「興味はあるけど、具体的なやり方は知らない」「どんな感じだろう?」と興味を持った皆様に分かりやすく、優しく指導します。

最初にストレッチをしてから、坐禅を始めます。畳に坐ることが難しい方は、イスに坐って坐禅ができます。

持ち物や予約は不要です。足を組みやすい服装で参加ください。

日曜坐禅会 毎週日曜 午前6時～7時 参加無料

朝の閑静な本堂にて各自のペースで、坐禅をしています。心静かなひと時を一緒に過ごしましょう。

第3日曜には、坐禅の後に曹洞宗の経本を用いた勉強会を開催しています。(講話時間 約30分)

日々の暮らしには色々な悩みがあります。そんな悩みを解消する一つに何も考えずに心静かに過ごす坐禅と写経があります。坐禅・写経で心を整えると脳がリセットされて、気持ちがスッキリします。

写経会 第3土曜 午前9～10時 参加費:200円

静かな朝の空気の中で、心静かに写経をしましょう。椅子席での写経なので、正座が難しい方でも参加いただけます。

使い慣れた書道の道具や、筆ペンをお持ちください。

写経用紙は会場にて購入できます。既に写経用紙を所持している方は、会場へお持ちください。

書き終わった写経は、大洞院御本尊へと納経することができます。

曹洞宗 花井山 大洞院

〒277-0812 千葉県柏市花野井1757

TEL 04-7132-5868 FAX 04-7134-2131

URL <http://www.daitoin.net/>

Email daitou@daitoin.net